

2014年6月26日

会社名 日本マニファクチャリングサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 コード番号 2162
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 末廣 紀彦
 電話番号 03(5333)1711(代表)

パナソニック株式会社との
 一般電源事業の譲受け契約締結のお知らせ

当社は、2014年3月27日付でパナソニック株式会社（以下、パナソニック）の車載向けを除く電源および電源関連部品（高圧電源、低圧電源、マグネットロール、トランス）の開発・製造・販売に関する事業（以下、一般電源事業）の譲受けに関する基本合意締結についてお知らせいたしました。この度、2014年6月26日開催の取締役会において、事業譲受け契約の締結を決議しましたのでお知らせいたします。

また、パナソニックの顧客・取引先との関係を維持継続し、円滑な事業移行をサポートしていただくため、パナソニックが、パナソニックの一般電源事業を譲受ける当社子会社であるパワーサプライテクノロジー株式会社（以下、PST社）の発行済株式総数の14.9%を保有することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、この事業譲受により、当社グループの電源事業は、国内電源メーカー上位に匹敵する事業規模になると考えられます。

事業譲受け契約の締結に伴い、3月27日付の基本合意締結のお知らせ時点で未定となっております項目についても下記の通りお知らせいたします。

(1) 譲受け対象部門の内容

パナソニック株式会社の一般電源事業（高圧電源、低圧電源、マグネットロール、トランス）に関する対象部門

事業部門名等	住所
パナソニック株式会社 松阪対象部門	三重県松阪市上川町 2460 番地 1 号
パナソニック デバイス香港有限公司	Top Floor South, Chinachem Golden Plaza, 77 Mody Road, TST East, Kowloon, Hong Kong
パナソニック エレクトロニックデバイス江門有限公司 順徳分公司	中華人民共和国 佛山市順徳区大良五沙順徳工業園 順和南路 2 号地 廠房 1・2 号

(2) 譲受けする対象部門の経営成績

2014年3月期実績 対象部門実績（連結）売上高 15,473百万円

(3) 譲受け方法、譲受け価額及び決済方法

譲受け対象部門	譲受け方法	譲受け価額及び決済方法
パナソニック株式会社 松阪対象部門	パナソニックは譲渡対象事業を 会社分割し、PST 社が承継	PST 社の普通株式 14,900 株を交付 (発行済株式総数の 14.9%)
パナソニック デバイス香港有限公司	TKR Hong Kong Limitedが事業 譲受	75,765千円 現金決済
パナソニック エレクトロニックデバイス 江門有限公司 順徳分公司	中宝華南電子（佛山）有限公司 が事業譲受	22,000千円 現金決済

(4) 日程

事業譲受け契約締結日 2014年6月26日

事業譲受け期日 2014年10月1日（予定）

(5) 会計処理の概要

会計上の分類は取得となります

(6) 今後の見通し

本件が、当社の連結業績に与える影響につきましては、明らかになり次第別途公表いたします

(7) 当社グループの今後の事業戦略について

**2013年10月の日立メディアエレクトロニクスからの一部事業譲受けと
今回のパナソニックからの一般電源事業の譲受けで
キーテクノロジーを有する技術的競争力も備えた企業グループへ変革**

当社グループは、日本のモノづくりを支える企業として日本、中国、アセアン諸国において人材ビジネス事業とEMS 事業の融合によるトータルソリューションサービス（neo EMS）を展開しております。

今後はアジアにおけるグローバルなコスト競争に勝ち抜くため、当社グループが提供するサービスのさらなる高付加価値化が重要と考えております。特にEMS 事業は、今後も世界的に継続的な成長が見込まれる分野ではありますが、グローバルな競争の激化も予想されるため、当社グループはEMS 事業の特徴、強みをさらに高める必要があると考えております。そこで当社は、これまで内外に標榜してまいりました「neo EMS」の事業コンセプトをより時代に即したビジネスモデルとすべく、開発、設計といった製造業の上流プロセスの機能を強化し、単なる製造アウトソーサーからキーテクノロジーを有する技術的競争力も備えた企業グループへの変革を中期的スタンスにて進めてまいります。



第一として2013年10月、当社グループは中核EMS企業である株式会社テーキアール（以下、TKR）が株式会社日立メディアエレクトロニクス（以下、日立ME）の事業の一部（電源事業、トランス事業、車載チューナー事業、映像ボード事業）を譲受けし、これまでの単なるEMS事業にキーテクノロジーの基盤を加えることとなりました。そしてこの度、電源及び電源関連事業をキーテクノロジーとしてより競争力を高めるべく、パナソニックの一般電源事業を譲受けることで、電源及び電源関連分野を当社グループのキーテクノロジー分野と定義し、各種周辺製品の製造受託を推進してまいります。

当社グループは、従来の電子・電気機器の製造受託を行うEMS 事業に加え、日立MEとパナソニックからの事業譲受けにより、高圧トランス等、部品レベルでの供給から、電源等のユニットからモジュールまでを扱うことのできる電源及び電源関連メーカーの機能も有することになり、これら両市場に対してサービスの提供が可能となります。

電源市場は、低圧電源等、高い技術力を必要としない領域においては参入企業が多く、激しいコスト競争を強いられます。一方、高圧電源・高圧トランス等、一定の技術力が求められる分野におきましては、品質、安全面において日系メーカーにアドバンテージがあります。この高圧電源・高圧トランスは、複写機、空気清浄機等に使用される技術分野であり、特に空気清浄機向けの高圧トランスは、今後、エアコン、自動車等にも搭載される等、対象製品が拡充されることが予想されています。

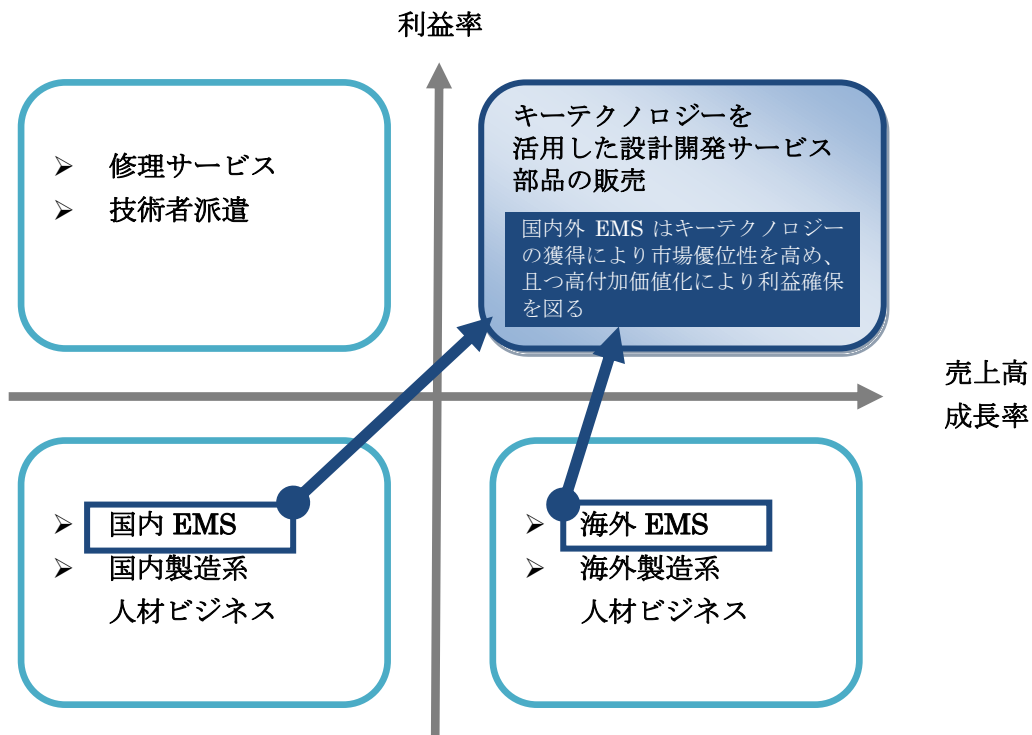
以上を踏まえ、現時点における当該事業分野での当社グループの事業戦略は、以下であります。

- 日立ME とパナソニックから譲受けた電源に関する技術力の融合を図り、今後成長が見込まれるLED 電源、空気清浄機等の分野を強化していく
- パナソニックの持つ世界トップクラスの高圧電源及び高圧トランスにかかる技術の競争力を一層高め、複写機等の分野において日系メーカー以外の新規顧客開拓を図っていく

<強化されるキーテクノロジー分野 ※赤枠が追加または強化される分野>

キーテクノロジー	既存技術 (TKRと経営統合後のnmsグループ)	2013年10月 日立MEからの 一部事業譲受後の nmsグループ	パナソニックから 一般電源事業譲受 後の nmsグループ	技術が組み込まれる 製品群 (例)
車載関連技術	○	○	○	カーオーディオ
映像ボード技術	—	○	○	各種モニター、カーナビ、プロジェクター
チューナー技術	—	○	○	ワンセグ・フルセグ受信機、地デジ変換機
高圧電源技術	—	—	◎	複写機・医療機器
高圧トランス技術	—	○	◎	空気清浄機、ドライヤー、電子レンジ
低圧電源技術	○	○	◎	エアコン本体 エアコン室外機
LED照明用電源技術	—	○	◎	LED照明
マグネットロール	—	—	○	複写機等

＜パナソニックの一般電源事業譲受け後のnmsグループの事業ポートフォリオ＞



以上

＜参考＞

2014年3月27日「パナソニック株式会社一般電源事業の譲受けに関する基本合意締結のお知らせ」

2013年7月2日「nms 子会社 株式会社テーキアール 株式会社日立メディアエレクトロニクスの事業の一部譲受け契約締結に関するお知らせ」